



**山きい～や倶楽部制度
～準市民制度を用いた山木屋地区復興策～**

Presented by 近畿大学片岡ゼミ

目次

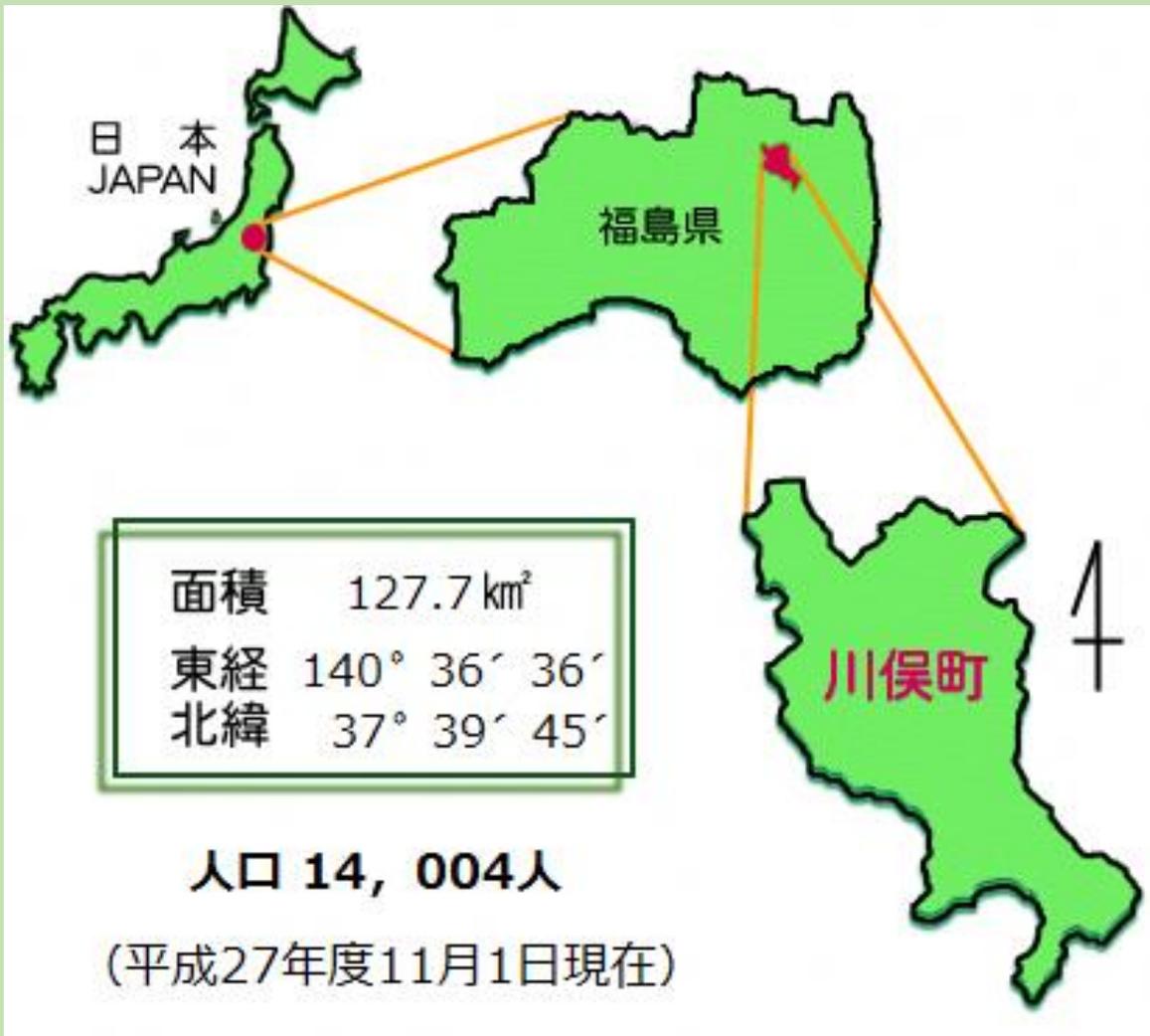
1. 川俣町山木屋地区について
2. 復興の流れについて
3. 帰還促進事業について
4. 山きい～や倶楽部制度について
5. 具体的な活動内容について
6. まとめ
7. 参考文献・資料



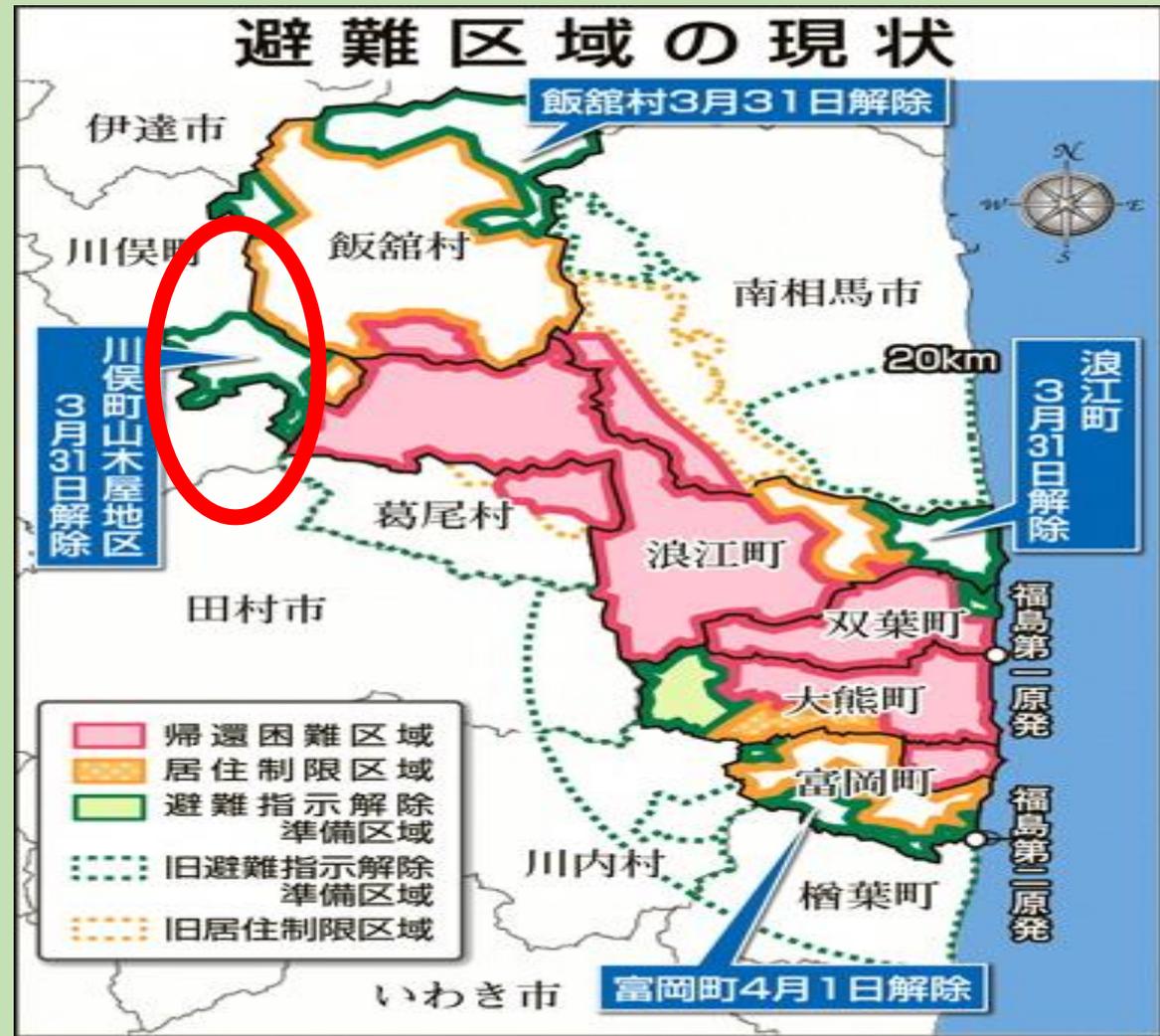
(出典:実態調査時に筆者撮影)

1. 川俣町山木屋地区について

1-1. 川俣町山木屋地区について



川俣町の位置
(出典: 川俣町HP)



避難指示区域の概念図
(出典: 福島県避難区域の現状について)

1-2. 川俣町・山木屋の魅力

トルコギキョウ

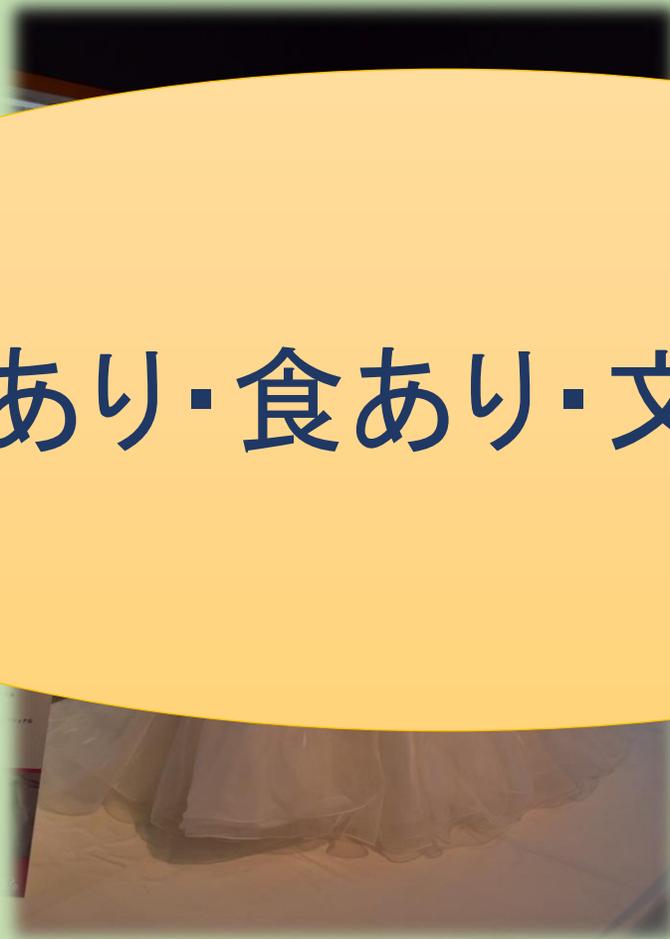
川俣軍鶏

川俣シルク



(出典:川俣軍鶏 画像)

技あり・食あり・文化あり



(出典:実態調査時に筆者撮影)



(出典:実態調査時に筆者撮影)

山木屋太鼓



(出典:山木屋太鼓 画像)

2. 復興の流れについて

2-1. 復興の流れについて

避難住民の
帰還促進

山木屋に
定住してもらう

準市民制度による
交流人口増加

ゴール

ゴール達成の
手段

☆山きい～や倶楽部制度☆

3. 帰還促進事業について

避難住民の
帰還促進



3-1. 帰還促進事業の概要

目的①

- 避難住民の帰郷機会創出
- 生活基盤等の再建（活気）

目的②

- 山きい～や倶楽部の運営基盤をつくる
- 上記の宣伝

※ 山きい～や倶楽部制度を行う為の前段階手段

3-2. 具体的な内容について (目的①.②に該当)

イベント事業

- カラオケ

小規模

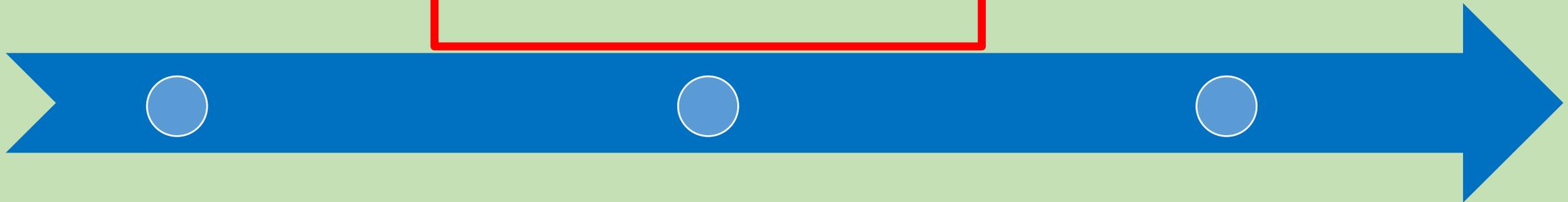
低コスト

情報提供

- 川俣町広報誌の定期送付
- 山きい~や倶楽部制度の事業案内送付
- 帰還相談会・座談会の開催など

4. 山きい～や倶楽部制度について (準市民制度を用いた)

準市民制度による
交流人口増加



4-2. 山きい～や倶楽部制度（準市民制度）



目的

- 山木屋地区の復興活動

対象

- 交流人口

内容

- 交流機会への積極的参加
- 目的に即した事業を企画・運営

4-3. 交流人口とは

定義

- その地域に訪れる人のこと
- その地域に訪れる理由を問わない

以下の3点に
焦点を当てる

避難住民

本地区
出身者

ゆかりの
ある人

4-4. 制度登録の手続き

山木屋小中学校
卒業生名簿



申請書を
本地区出身・ゆかりのある人に郵送



川俣町役場
企画財政課へ提出

申請書郵送先：〒
FAX 送信先：
〃

山きい～や倶楽部登録申請書

年 月 日

住 所	〒 〃		
フリガナ 氏 名 (社名)	〃	性 別	男・女
		生年月日	年 月 日
職 業	会社員・公務員・自営業 その他()		
電 話	()	E-MAIL	〃
F A X	()		〃
対象となる項目に〇をつけてください。			
〃	山木屋地区出身者である方		
〃	山木屋地区に訪問または住んだことのある方		
山木屋の活性化のためにご協力いただける項目に〇をつけてください。(複数回答可)			
〃	友人等に山木屋の魅力、産業などを宣伝したい		
〃	山木屋の活性化のためにサポート、アドバイスをしたい		
〃	友人等に制度への参加を呼び掛けたい		
〃	その他()		

会員証を獲得

4-5. 会員証(表面)

山きい〜や倶楽部 会員証

山木屋

山木屋	山木屋	山木屋	山木屋	プレミアム商品券 500円
				プレミアム商品券 1000円
				プレミアム商品券 3000円
			
			etc

発行 2018/01/01

会員No. 0001

お名前 山木屋 愛 様

(出典:筆者作成)

4-5. 会員証(裏面)

山きい～や倶楽部会員証の利用ご案内

1. この会員証は「山きい～や倶楽部」会員であることを証明するものです。
2. この会員証を許可なく他人へ譲渡することはできません。
3. 会員証をお忘れの場合は別紙に仮捺印をし、お渡しいたします。
次回ご参加の際に仮捺印された別紙をお持ちください。
4. この会員証を万が一紛失された場合は、川俣町役場にて再発行いたします。

〔この会員証を拾得された方は、とんやの郷または川俣町役場へご連絡ください。〕

みんなで来^きい^や! 山木屋へ!

ご署名

◆とんやの郷

開館日：月曜日～金曜日

開館時間：8:30～17:15

住所：福島県伊達郡川俣町山木屋字日向40-1

電話：024-563-2021

(出典:筆者作成)

4-6. 活動内容について

山木屋地区住民

1 交流機会の創出

2 本地区の情報共有

準市民

1 交流機会に参加する

2 活動の企画・運営・参加

3 周知活動の協力

5. 具体的な活動内容について (地元住民・準市民合同)

5-1. 活動内容の提案例について

山木屋自然体感イベント

花卉栽培体験

川俣軍鶏レースイベント

山木屋同窓会

ごくまきイベント



5-2. 山木屋自然体感イベント

開催場所

- 山木屋オートキャンプ場

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 山木屋の自然を体感する
- 風評被害の緩和

内容

- オートキャンプ場でのキャンプ
- 川俣町・山木屋の食材を使ったBBQ
- 山木屋をサイクリング

5-2-1.「山木屋自然体感イベント」案における予算

<コテージを新設すると仮定>

項目	費用	備考
レンタル自転車	<クロスバイク> 5万円/1台 × 10台=50万円 <ママチャリ>3万円/1台 × 10台=30万円	・初期用意台数は10台を仮定
ハンモック	<ハンモック(自立式)>1万円/本 × 10本=10万円 <ハンモック(持ち運び式)>約3千円/本 × 10本=3万円 <ハンモックベルト>約3千円/台 × 10台=3万円	・自立式:耐荷重330kg 持ち運び式:耐荷重250Kg
コテージ	<建設費>(※1)約700万円/1棟 × 3棟=2100万円 <土地代>(※2)約6万円/1坪 × 18坪 × 3棟=324万円 <合計>約2430万円(3棟分)	約200万円 約2万円/㎡
管理費	<人件費>(※3)750円/時間 × (※4)6人=4500円/時間 <雑費>初期費用(小道具購入代等)として5万円	(※3)福島県最低賃金 748円/時間 (※4)コテージ1棟に対し2名と仮定
合計	<最安値>¥2,471万円 + 人件費 <最高値>¥2,498万円 + 人件費	—

経費削減可能！！

5-3. ごくまきイベント

開催場所

- とんやの郷
- 小中一貫校（H30.4 開校予定）

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 若者から高齢者まで幅広い年代間交流

内容

- 高台から落とされる景品を獲得する

5-3-1.「ごくまきイベント」案における予算

項目	費用	備考
バス代金	<総額>¥45,100	・<仮定>大型バス5時間使用、距離35Km
お菓子代	<総額>¥8,750	・<総額>= 50円 × 35人 × 5個
餅代	<総額>¥16,524	・<仮定>投げ餅お配りセット 参照:かくじゅう米屋
軍鶏代	<総額>¥4,217	・<仮定>軍鶏解体済みメス1羽
高台レンタル代	<総額>¥64,800	・<仮定>1泊2日料金 参照:ダスキンレントオール
合計	¥139,391	—

5-4. 山木屋同窓会

開催場所

- 公民館
- 小中一貫校（H30.4月開校予定）

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者（山木屋小中卒業者）

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 故郷山木屋への思いを強く持ってもらうこと
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり

内容

- 一般的な同窓会と同様に食事を中心とする

5-5.花卉栽培体験



(出典:実態調査時に筆者撮影)

開催場所

- 花卉栽培ビニールハウス

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- トルコギキョウの知名度向上
- 山木屋地区雇用先の認知
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり

内容

- トルコギキョウの栽培・収穫体験
- トルコギキョウのフラワーアレンジメント

5-6. 川俣軍鶏レースイベント

開催場所

- 株式会社いわき育成場新田農場
- 有限会社はやま農場
- 有限会社福島ポトリー／山木屋疣石農場

ターゲット

- 【主催者】 川俣町農業振興公社と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 川俣町の魅力再確認

内容

- 川俣軍鶏をレースに参加させる
- 川俣軍鶏の料理を提供



(出典:実態調査時に筆者撮影)

5-7. イベント予算の内訳について (ごくまき・山木屋自然体感イベントを除く)

イベント	内訳	合計	備考
イベント打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人件費: 約15,000円(運転手2人分) ✓ 雑費: 25,000円: 飲料・茶菓子(500円/人) 	¥40,000	・対象は50人規模と仮定
山木屋同窓会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 飲料費: 約15,000円(300円/人) ✓ 人件費: 約30,000円(運転手2人分) ✓ 催し代: 約25,000円 ✓ 軽食費: 25,000円(500円/人) 	¥95,000	・対象は50人規模と仮定
カラオケ大会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カラオケ器具リース代(1日分): 57,780円 	¥57,780	—
スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 棒サッカー(ボール代: 300円、新聞紙代: 無料) ✓ 風船バレー(ネット代+ボール代): 3960円+500円=4,460円 ✓ ローンボウルズ(偏心球2個セット×5): 990×5=4,960円 	¥9,720	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは3種のスポーツとして仮として計算 ※行うスポーツによって異なる
川俣軍鶏レース	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 軍鶏購入費: 2000/円×10羽=20,000円 ✓ posting費: 35,000円 ✓ 養鶏費20kg: 1500円(仮定): 28,000円/年 ✓ レース場設備費: 20,000円 	¥103,000	—

6. まとめ

6. まとめ

山木屋地区に人の流れを

準市民



地元
住民



継続的な交流活動を
山木屋に活気と人を取り戻す



7. 参考文献・資料

- 「未来の年表」（著者：河合雅司）
- 川俣町HP
- あぶくまカットフラワーグループヒアリング調査結果
- 株式会社川俣町農業振興公社ヒアリング調査結果
- とんやの郷ヒアリング調査結果
- 川俣町役場ヒアリング調査結果
- 山木屋地区自治会ヒアリング調査結果
- 群馬県沼田市HP（準市民制度について）

近畿大学

KINDAI UNIVERSITY

近畿大学片岡ゼミ 指導教員:片岡 博美 教授

風評被害班

今仲 康輔

関口 尚将

西 隆司

林 大輔

防災班

井倉 里菜

奥川 拓也

加藤 陽

春岡 隆宏

村井 俊輝

人口班

木村 和樹

田島 俊輔

堤 遥香

堀川 誠矢

吉村 凌

行政班

井筒 絢香

竹本 静喜

中山 真太郎

濱本 拓実

松田 紘典

吉村 駿

観光班

田井 真由子

中島 彩

森 希代実

平山 智史

Supported by 近畿大学社会連携推進センター

以上24名